

会長テーマ：クラブの主役は、会員一人一人です。

国際ロータリー第 2770 地区第 8 グループ越谷南ロータリークラブ
〒343-0842 越谷市蒲生旭町 10-14 中野ビル 2F Email : info@koshigayasouth-rc.jp
TEL : 048-987-5761 FAX : 048-987-5762 例会日：毎週木曜日 12 : 30～13 : 30



2018年 10月 4日 第2167回例会 会報

【点鐘】

【ロータリーソング斉唱】

【ゲストビジター紹介】

第8Gガバナー補佐 大熊 進様
第8Gガバナー補佐幹事 水町俊介様
青少年交換学生 アレックス君

【誕生祝い】

瀬尾拓也様 金塚徳和様 おめでとうございます。



本田栄一様、小山栄一様、中村直弘様 おめでとうございます。

【四つのテスト】

職業奉仕 濱野副委員長



【会長あいさつ】

荒井信宏会長



皆様、こんにちは。先週の夜間例会（屋形船）では多くの会員の皆様とその家族の方々に参加して頂きましてありがとうございます。また、和田親睦委員長をはじめ、親睦委員の方々のご協力、ありがとうございました。

さて、11月に越谷市、草加市とも市制60周年を迎えます。この後の卓話で清田会員から越谷市の市政60周年についてのお話がありますが、今日の会長挨拶は、越谷市と草加市の土地価格についてお話したいと思います。

草加市内で東武スカイツリーラインの「松原団地駅」が「獨協大学前駅」に平成29年4月1日から変わりました。また近年、「獨協大学前駅」周辺の地価が、住宅地・商業地とも、越谷市、草加市の中でもトップクラスの年間約3%上昇しています。これは駅名が変わってイメージが良くなったので、地価が上昇したと思いますか。

駅西口にて、しばらく前からUR都市機構が主体となって、建替え事業を柱とする大規模再開発事業が実施され、今も現在進行中です。高層マンションを初め、病院等の施設も立地し依然とは見違えるような変化です。このように大きな地域要因が発展したことから地価の上昇が生じたのです。しかし、都内の「都立大学駅前」のように大学が移転した場合が心配になります。

次に越谷市内で最も地価が高い場所はどこだと思いますか。ご想像通り、新越谷駅東口駅前です。昔から比較されるのが、越谷駅東口駅前です。新越谷駅は武蔵野線との乗り替え駅でもあり、昼間の人の多さは越谷駅と比較になりません。

夜も飲食店、居酒屋、パブ・スナック等、お店の数とお客さんの賑わいも越谷駅より遥かに多いでしょう。

しかしながら、両駅前の地価は何れも 50 万円/㎡であって、その格差は僅かです。

その一つの理由は、昔は越谷駅を中心に町が形成されて来たという歴史、市役所も埼玉県合同庁舎も越谷駅周辺にあり、行政の中心が越谷駅圏内にあるということです。

唯一つ言えることは、近年、新越谷駅東口駅前と越谷駅東口駅前の地価格差が広がってきていて、今後もこの傾向は続くと思われまます。

最後になりますが、今月の 10 月 18 日は、ガバナー公式訪問です。また来週の例会は、公式訪問リハーサルです。1 年の中でも最も大切な行事です。会員皆様に出席して頂きたいと思ひます。どうぞ、よろしくお願ひ致します。

【幹事報告】

中内啓夫副幹事



【理事会協議事項】

1. 新会員の候補者について……松本洋介様(浅水様紹介)承認
2. 10 月 11 月のプログラムについて……………承認
3. ガバナー公式訪問後の懇親会について……親睦委員会で協議
4. 地区女子会について……………承認
5. サッカー大会決算について……………承認
6. 親睦夜間例会の決算について……………承認
7. ガバナー補佐の助成金について……………戦略委員会で協議

【理事会報告事項】

1. 勉強会(テーマ: IM)について……………11/15or11/22 予定
2. 家庭集会(テーマ: 出席率)……………11 月予定
3. 台中南 RC 式典……………1/26 国際奉仕を中心に参加
4. 次年度地区大会ゴルフホストクラブの委嘱書を受理
5. 次年度地区役員推薦……………6 名推薦予定

【RI 第 2770 地区】

- ・管理運営部門より、RLI パート II の案内が届きました。11 月 30 日(金)大宮ソニックシティにて 9:00 受付、9:30 開始、17:30 終了予定です。参加希望の方は 10 月 25 日(木)までにご連絡ください。
- ・会員増強維持部門より、第 2770 地区女子会の案内が届きました。12 月 5 日(水)、さいたま市にある T・T・Cucina(ティティクッチーナ)にて、16:30 受付、17:00 開始予定です。

【委員会報告】



米山記念奨学委員会

岡田委員長

今月は米山月間です。ポストに豆辞典を入れてあります。今年度も寄付目標は 20,000 円です。宜しくお願い申し上げます。

【表彰・贈呈】

第 1 3 回米山功労者表彰

大熊進会員



青少年交換ホストファミリー御礼

仁多見廣和会員

青少年交換学生おこづかい

アレックス君



【ロータリーの友紹介】

公共イメージ斎藤委員



【卓話】

清田巳喜男会員



越谷市制60周年において
1、市制町村制について
2、越谷市の60年の歩みについて

詳細は次ページ

【例会場の様子】



【スマイル報告】

お陰様で
スマイル 30件 115,000 円
累計 557,500 円
中島、吉田、斎藤、小池、清田、石塚、和田、飯泉、
田中(誠)、田中(由)、池田、水町、赤松、浅水、仁多見、
小林(光)、小林(武)、濱野、金塚、石川、中内、岡田、
染谷、荒井、深井、瀬尾、金塚、中村、長澤 (敬称略)
長澤様からは大々しく頂きました
ありがとうございました。

【出席報告】

例会日	平成30年10月4日		
会員数	47名	出席	30名
出席免除者	9名	欠席	17名
出席率	65.22%	前々回MU	7名
MU修正率	64.44%		

越谷市制60周年について

日時：平成30年10月4日（木）1：00p.m.
会場：越谷南ロータリークラブ例会場

1. 市制町村制について

明治の大合併

昭和の大合併

平成の大合併

市制施行手続き

c f 昭和33年⇒28市 県内3市（上尾7/15、草加11/1、越谷11/3）

年月	市	町	村	計	備考
明治21年	—		(71,314)	71,314	
「明治の大合併」 近代的な地方自治制度である「市制町村制」の施行に伴い、行政上の目的（教育、徴税、土木、救済、戸籍の事務処理）に合った規模と自治体としての町村の単位（江戸時代から引き継がれた自然集落）との隔たりをなくすために、町村合併標準提示（明治21年6月13日 内務大臣訓令第352号）に基づき、約300～500戸を標準規模として全国的に行われた町村合併。結果として、町村数は約5分の1に。					
明治22年	39		(15,820)	15,859	市制町村制施行（明治22年4月1日） （明治21年4月17日 法律第1号）
大正11年	91	1,242	10,982	12,315	
昭和20年10月	205	1,797	8,518	10,520	
昭和22年8月	210	1,784	8,511	10,505	地方自治法施行 （昭和22年5月3日 法律第67号）
昭和28年10月	286	1,966	7,616	9,868	町村合併促進法施行 （昭和28年10月1日 法律第258号）
「昭和の大合併」 戦後、新制中学校の設置管理、市町村消防や自治体警察の創設の事務、社会福祉、保健衛生関係の新しい事務が市町村の事務とされ、行政事務の能率的処理のためには規模の合理化が必要とされた。昭和28年の町村合併促進法（第3条「町村はおおむね、8000人以上の住民を有するのを標準」）及びこれに続く昭和31年の新市町村建設促進法により、「町村数を約3分の1に減少することを目的」とする町村合併促進基本計画（昭和28年10月30日 閣議決定）の達成を図ったもの。約8000人という数字は、新制中学校1校を効率的に設置管理していくために必要と考えられた人口。昭和28年から昭和36年までに、市町村数はほぼ3分の1に。					
昭和31年4月	495	1,870	2,303	4,668	新市町村建設促進法施行 （昭和31年6月30日 法律第164号）
昭和31年9月	498	1,903	1,574	3,975	町村合併促進法失効 （昭和31年9月30日）
昭和36年6月	556	1,935	981	3,472	新市町村建設促進法一部失効 （昭和36年6月29日）

昭和 37 年 10 月	558	1,982	913	3,453	市の合併の特例に関する法律施行 (昭和 37 年 5 月 10 日 法律第 118 号)
昭和 40 年 4 月	560	2,005	827	3,392	市町村の合併の特例に関する法律施行 (昭和 40 年 3 月 29 日 法律第 6 号)
昭和 50 年 4 月	643	1,974	640	3,257	市町村の合併の特例に関する法律の一部を改正する法律施行 (昭和 50 年 3 月 28 日 法律第 5 号)
昭和 60 年 4 月	651	2,001	601	3,253	市町村の合併の特例に関する法律の一部を改正する法律施行 (昭和 60 年 3 月 30 日 法律第 14 号)
平成 7 年 4 月	663	1,994	577	3,234	市町村の合併の特例に関する法律の一部を改正する法律施行 (平成 7 年 3 月 29 日 法律第 50 号)
平成 11 年 4 月	671	1,990	568	3,229	地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律一部施行 (平成 11 年 7 月 16 日 法律第 87 号)
平成 14 年 4 月	675	1,981	562	3,218	地方自治法等の一部を改正する法律一部施行 (平成 14 年 3 月 30 日 法律第 4 号)
平成 16 年 5 月	695	1,872	533	3,100	市町村の合併の特例に関する法律の一部を改正する法律施行 (平成 16 年 5 月 26 日 法律第 58 号)
平成 17 年 4 月	739	1,317	339	2,395	市町村の合併の特例等に関する法律施行 (平成 16 年 5 月 26 日 法律第 59 号)
平成 18 年 3 月	777	846	198	1,821	市町村の合併の特例に関する法律 経過措置終了
平成 22 年 4 月	786	757	184	1,727	市町村の合併の特例法に関する法律施行 (平成 22 年 3 月 31 日 法律第 10 号)
平成 26 年 4 月	790	745	183	1,718	-

2. 越谷市の 60 年の進歩の歩み

○昭和 20 年～30 年代

昭和 28 年(1953)、町村合併促進法が施行され、町村合併の気運が高まる中、昭和 29 年 11 月に越谷地区 2 町 8 カ村が合併して、越谷町となりました。昭和 30 年 9 月には、町役場新庁舎が越ヶ谷一丁目に完成しました。その後、草加町の伊原、麦塚、上谷(うわや)の越谷町への編入を経て、昭和 33 年 11 月に市制が施行され人口 4 万 8318 人の越谷市が誕生しました。

当時の暮らしに目を向けると、昭和 31 年に経済企画庁(現在の内閣府)から発表された経済白書の副題には「もはや戦後ではない」と記されており、日本経済は高度成長へと進み出しました。昭和 35 年には、人口が 5 万人を突破しました。また、人口の増加に合わせて地下鉄日比谷線が北越谷駅まで相互乗り入れ、首都圏のベッドタウンとして、その後の人口の急増時代を迎えることとなります。東京五輪開催で日本中が沸いた昭和 39 年、マイカー時代の到来に合わせて道路整備が進められ国道 4 号・草加バイパスの工事が始まりました。

○昭和40年代

農地の宅地化や地下鉄日比谷線の東武伊勢崎線への相互乗り入れなどに伴い、昭和42年(1967)には、人口が10万人を突破しました。都市化の進展でまちの様子も大きく変り、人口の急増は、まちを活性化させる反面、さまざまな問題を抱えました。農地の埋め立てによる無秩序な住宅地の拡大、地下水の汲み上げによる地盤沈下、排水不良による浸水被害、汚水流出による河川の汚濁、交通事故や防災上の問題、学校や医療施設などの不足が生じてきました。これらに対応するため市では、さまざまな方策が進められましたが、増え続ける人口に追われるようなまちづくりの時代が続きました。

一方、昭和42年には、埼玉国体が開催され、越谷市ではバドミントン競技が行われました。また、この年、草加バイパスが開通し、高度経済成長に伴い増える交通量に対応しました。さらに、現在の市庁舎が完成、市制施行10周年を祝う式典とともに新築落成記念式典が執り行われました。

○昭和50年代

昭和50年代に入ると、住民の医療や福祉に重点が置かれ、重度心身障がい者の医療費の無料化や看護専門学校の開校、市立病院の開院がありました。人口は年々増加し、昭和51年(1976)には、20万人を突破しました。また、人口の増加に伴い小・中学校が各地域で相次いで開校されました。市制施行20周年となる昭和53年には、「越谷市民であることに誇りと責任を持ち、水と緑と太陽に恵まれた豊かなまちを築くため限りない願いをこめて」という市民憲章が制定されました。昭和54年には、市民のふれあいを目的に建設が進められていた越谷コミュニティセンターが開館し、市制施行20周年記念式典が盛大に執り行われました。昭和57年になるとせんげん台駅南陸橋が開通し、東西の往来が便利になりました。

住みよい環境として、生活の利便性だけでなく快適性(アメニティ)が求められるようになり、越谷の美しい自然を選んだ越谷アメニティ八景が選ばれ、絵はがきも発行されました。昭和58年には、市制施行25周年記念として式典で「文化都市宣言」が多数の市民を前に宣言され、越谷市の一層の発展を祈りました。

○昭和60年代

日本経済が安定成長に移行したころから人口の増加が落ち着きはじめ、スポーツや文化活動などの健康的で余暇を楽しむ生活が求められ、各施設の整備や各種団体の育成などの施策が進められました。昭和60年(1985)には、人口が25万人を突破しました。また、快適で便利な生活が営めるよう、道路や橋、公園、公共下水道、鉄道の高架複々線化事業など都市基盤の整備が進められました。昭和62年には、児童館「コスモス」の開館や県民健康福祉村のオープンがありました。昭和63年には、市制施行30周年を記念して「シラコバト」が市の鳥に制定されました。

○平成

平成に入ると東武鉄道伊勢崎線の連続立体交差事業が着工されました。平成3年(1991)には近隣公園として、全国初の本格的日本庭園「花田苑」が、平成5年には「こしがや能楽堂」が開館しました。平成6年には、一部高架が開通し、元荒川以南の踏切8カ所が解消されました。また、市の鳥「シラコバト」をデザインしたしらこぼと橋が開通し、市のシンボルとなりました。

地方分権の進展により個性的で魅力的なまちづくりが求められるようになりました。人口の増加も緩やかとなり都市施設が充実し、成長するまちから成熟するまちへと変わりつつあるなかで、安心して健やかに暮らすことのできるまち、自然と共生する緑豊かなまちが求められました。

平成7年(1995)には、県立越谷西高等学校が市内で初の夏の甲子園出場の快挙を成し遂げました。平成8年には、人口が30万人を突破し、平成9年には、東武鉄道伊勢崎線が越谷駅以南で高架複々線となり、ますます利便性が高まりました。平成10年には、市制施行40周年記念式典が執り行われ、市のシンボルマークと子ども憲章が発表されました。平成11年には、福祉のまちの実現を目指して「福祉憲章」を制定しました。また、市民と行政との協働によるまちづくりを進めるため、第3次越谷市総合振興計画が平成12年に策定されました。平成16年には、彩の国まごころ国体の開催、国道4号線東埼玉道路が開通しました。平成19年には、リサイクルの拠点施設リサイクルプラザがオープンしました。

そして平成20年、越谷レイクタウンがまち開きし、21世紀にふさわしい親水文化創造都市が着々と形成されています。